

科学研究費助成事業（基盤研究（S））研究進捗評価

課題番号	21221010	研究期間	平成21年度～平成25年度
研究課題名	インド農村の長期変動に関する研究	研究代表者 (所属・職) (平成26年3月現在)	水島 司（東京大学・大学院人文 社会系研究科・教授）

【平成24年度 研究進捗評価結果】

評価	評価基準
	A+ 当初目標を超える研究の進展があり、期待以上の成果が見込まれる
○	A 当初目標に向けて順調に研究が進展しており、期待どおりの成果が見込まれる
	A- 当初目標に向けて概ね順調に研究が進展しており、一定の成果が見込まれるが、一部に遅れ等が認められるため、今後努力が必要である
	B 当初目標に対して研究が遅れており、今後一層の努力が必要である
	C 当初目標より研究が遅れ、研究成果が見込まれないため、研究経費の減額又は研究の中止が適当である
(意見等) データの収集やデータベース化は順調に進展している。研究進捗状況報告書とヒアリングにより、具体的な研究事例について研究の進捗状況が把握でき、研究代表者が研究全体の進捗状況を明確に把握していることを理解できた。ミクロとマクロの研究の交差についても中間の地域レベルへの配慮がなされ、方法論的にも道筋がついていると判断でき、当初の期待どおりの研究成果が見込まれる。	

【平成26年度 検証結果】

検証結果	研究進捗評価結果で見込まれたとおりの研究成果が達成された。
A	当初の研究目的である激動するインドの状況を把握するため、インド地名検索システムを構築し、ネット上で公開、インドの地域空間情報システムを利用した研究がマクロ・ミクロベースで行われた。国際的なシンポジウムや国際誌への投稿に加え、『シリーズ 激動のインド』全5巻が出版され、本研究の多様な成果が示された。成果の公表という面でも十分である。今後、この成果を基に、更なるインド研究の広がりが期待できる。